

6 パーツ交換の方法

△ 安全上の注意事項

△警告 交換するパーツ以外は触れないでください。ガスシリンダーやスプリングなど高圧パーツを分解するとけがをすることがあります。

注意の種類の規定: 一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)による次のような危険性の規定に基づいています。

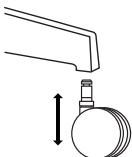
△警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。

下記の部品は、ご使用者の手で交換できます。消耗、破損の際は、下記をよくお読みのうえ、部品を交換して未永くご使用ください。

△注意 パーツを交換するときは座面を最高位にしてください。座面が急上昇して、けがをすることがあります。

△注意 パーツ交換作業中は、手袋をしてください。指をはさむなどけがをすることがあります。

- ① イス本体を安定した所へ横向きに置いてください。
- ② 脚羽根とキャスターの隙間にマイナストライバーを差し込み、こじるように動かしてキャスターを外してください。
- ③ 新しいキャスターをしっかり奥まで差し込んでください。使用時に外れるとけがをすることがあります。



△キャスターについての注意事項

△キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をお勧めします。

キャスターの交換

△ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項

① Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが走りすぎて転倒してしまうことがありますので、ゴム単輪キャスターもしくは抵抗付ウレタン双輪キャスターをお選びください。

② 軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。

△ゴム単輪キャスター・抵抗付ウレタン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項

① 軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤がゴム単輪キャスターのゴムや抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部を侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。

② 抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部は、使用環境により大きくばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので、破損した場合は早めのキャスター交換をお勧めします。

7 故障かな?と思ったら

現象	ご対応
キャスターが走りすぎます。	●Pタイル等の硬質の床面では、ゴム単輪又は抵抗付ウレタン双輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面の中央部に体重をかけていますか。●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面から腰を浮かせていますか。●座面が最高位置になっていませんか。
ガス上下調節レバーを操作しなくとも座が下がる。	●ガス上下調節レバーを操作しない状態で座面が1~2cm下がる現象は、タックリングといい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機能です。
座面の奥行き調節ができない。	●座面前側に荷重がかかっていませんか。●座面の奥行きが一番短い状態もしくは長い状態になっていますか。
ロッキングの固定ができない。	●ロッキング角度固定レバーが「カチッ」と音がするまで操作されていますか(半がかりの状態になっていますか)。
ロッキング強弱調節ができない。	●背もたれが初期状態でのみ強弱調節が可能ですが(背にもたれた状態や角度固定状態では調節できません)。●強弱調節は5段階です。5段階以上の操作はできません。
異常な音がする。	●ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求め先の販売店へご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	●「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションもしくは縫製品とのパーツ交換をおおすすめします。
背もたれ、座面にシワがある。	●長時間の着座など、使用状況によってはシワが発生することがあります。●生産のばらつきにより、微細なシワが生じることがあります。
左右のアジャスタブル肘の高さが違う。	●左右の調節段階(5段階)は一緒ですか。●調節段階が同じでも、生産のばらつきにより若干の高低差が生じる時があります。
左右のアジャスタブル肘の調節時の作動力が違う。	●お客様の体格によっては、左右の作動力が違うように感じる場合があります。●生産のばらつきにより、左右の作動力には若干の差が生じる時があります。

△ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡をお願いいたします。

T-H058-セクア A

セクアチェア 7



明日の「働く」を、デザインする。



対応機種

KG-3**

KG-○(H)はハンガー付きを表す。

●製品記号は、座面の裏側にラベルで表示しております。

Sequa
セクアチェア

取扱説明書

保証の明細付

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この度はイトーキ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、いつもそばに置いて、わからない時にご再読ください。また、製品をほかの方に渡す時には、必ずこの取扱説明書と一緒ににお渡しください。

L N D E X

1. 安全上の注意事項 P. 2
2. 使用上の注意事項 P. 2
3. セクアチェアの機能・調節 P. 3~6
4. 点検・お手入れ P. 6
5. 品質表示 P. 6
6. パーツ交換の方法 P. 7
7. 故障かな?と思ったら P. 7

保証の明細

お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体貼付のラベル等の注意書による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お求めの販売店へご連絡ください。転居されたり、譲渡された物の修理等でお困りの場合には、イトーキお客様相談センターへご相談ください。

■保証項目

保証書をご入用の場合は、お求めの販売店に、別途保証書の発行をお申しつけください。お買上げ日は保証書に記載します。

●保証期間は、「一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)」のガイドラインに準拠して、お買上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観表面仕上げ	塗装・張地(皮革を含む)の変色、褪色、摩耗
2年保証	機能	イスの上下・回転・ロッキング機構・キャスター
3年保証	構造部材	座部・背もたれ部・肘掛け部・脚部の構造部材

上記の保証期間は、一般的なオフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所での保証期間ではありません。

※保証項目は、各機種共通とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理については、有料とさせていただきます。(修理によって機能の維持が出来る場合のみ。)

●保証期間内でも以下の場合は有料とさせていただきます。

- ・取扱説明書や貼付ラベル等に従って使用されていない場合の故障または破損。
- ・中古品、第三者からの譲渡品・転売品の故障または破損。
- ・異常な環境下(高温・多湿など)でのご使用や保管による故障または破損。
- ・天然材料(木・革など)における色調、光沢等の質感の違い。
- ・お客様による納品後の移動や運搬による故障または破損。

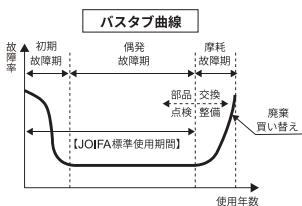
●保証書がない場合または当社以外から納品の既使用品の場合は、製造年月日より換算(1年2年3年と)しております。

■JOIFA標準使用期間について

JOIFA標準使用期間:注意喚起が目的で、耐用年数や保証期間ではありません。

一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)では、改正消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件(注)で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定致しました。この期間は製品

の無償保証期間とは異なります。通常製品は右のバスタブ曲線が示すように、この期間の末期から、経年劣化などによる故障が増大することが考えられます。その場合に、点検・整備や部品交換で継続使用いただくか、ご使用に耐えない場合には、買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。



JOIFA標準使用期間の終期は、製品に貼付されているラベルをご確認ください。製造年にJOIFA標準使用期間を加えた年の年末となります。

(注)品目別の使用条件は、JOIFAのホームページ(<https://www.joifa.or.jp/>)をご覧ください。
※保証期間及びJOIFA標準使用期間の内容につきましては、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証対象外の場合

- 火災・天災による故障または破損。
- 改造またはご使用者の責任に帰ると認められる故障または破損。

■部品の保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。(エコマーク対象品は10年間です。)補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

※仕様については予告なしに変更する場合があります。

■製品と修理(修理の範囲・修理に必要な期間)に関するお問い合わせ

イトーキお客様相談センター ☎0120-164177 □ <https://www.ito-ki.jp/>

■取扱説明書を紛失した場合

上記イトーキお客様相談センター、またはお求めの販売店にお申しつけください。

■製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

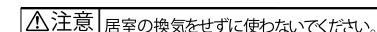
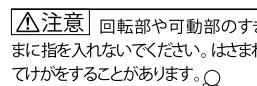
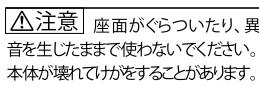
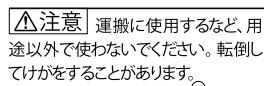
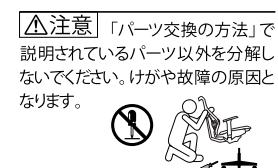
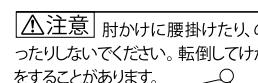
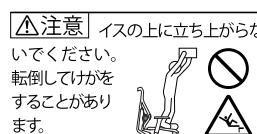
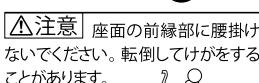
株式会社イトーキ

お客様相談センター ☎0120-164177 □ <https://www.ito-ki.jp/>

1 ! 安全上の注意事項

安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

🚫 このマークは禁止行為を表わします。⚠️ このマークは行為の指示を表わします。



必要換気量の求め方
$$\text{必要換気量} = \frac{20 \times \text{居室の床面積 (m}^2\text{)}}{\text{1人当たりの占有面積 (m}^2\text{)}}$$

[建築基準法に基づく方法
オフィス内における換気量算出の一例です。]

(注1)上の「20」は20 (m²/人)の意味ですが、この根拠は成人男子が静かに座っているときOCO(排気量)に基づいた必要換気量です。

(注2)居室では1人当たりの占有面積が10 (m²)を超える場合は、10 (m²)とします。

注意の種類の規定:一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)による次のような危険性の規定に基づいています。

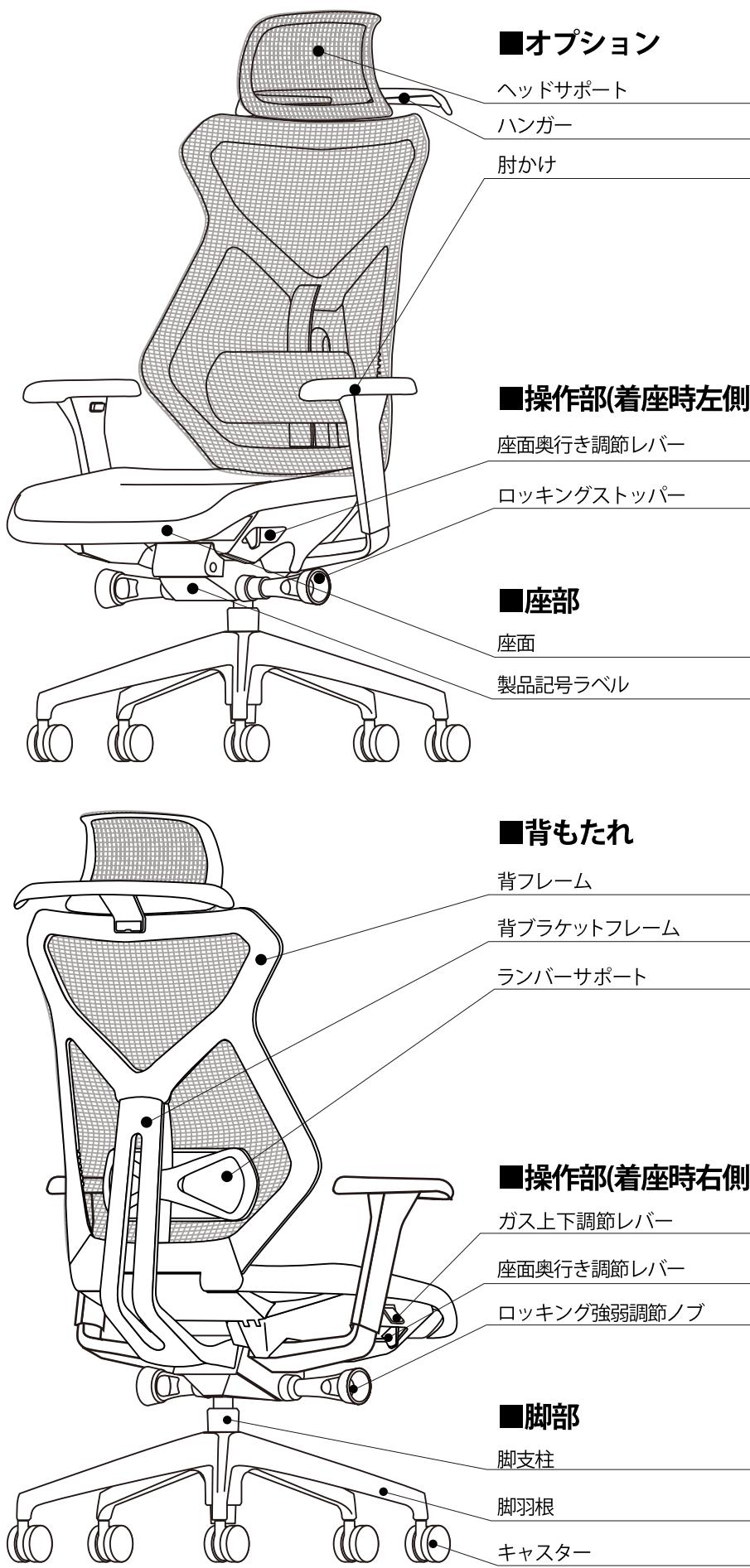
⚠️ **警告** 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。⚠️ **注意** 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

2 ! 使用上の注意事項

- ① 調節機能を操作する際は、周囲の安全に十分注意して行なってください。
- ② 安全の為、可動部分・隙間には指や手を入れないでください。
- ③ Pタイルのような硬質床で本製品を使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒してけがをする恐れがありますので、必ず、カーペットまたはニアマットの上でお使いください。
- ④ フローリングや軟質塗化ビニール床での本製品のご使用は、キャスターでキズ・凹みが発生することがありますので、カーペット等を敷いてのご使用を推奨いたします。
- ⑤ 背メッシュ、背部、座部を机やワゴン等の什器に当たらない(打ち付けない)でください。張地に傷み、擦り切れ、凹みが発生するおそれがあります。
- ⑥ 可動部に注油をしないでください。油がたれて、床や衣類を汚す原因になります。
- ⑦ 直射日光が当たる所でのご使用はさけてください。紫外線による色変わりや色あせのおそれがあります。
- ⑧ ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。故障の原因になることがあります。ガタツキが生じている部分のボルトやネジを締め直してご使用ください。
- ⑨ 製品の購入当初は化学物質の発散の多い事があります。暫くの間は、換気や通風を十分に心掛けてください。
- また、室内が高温(温度28°C、相対湿度50%超えが目安)になる場合には窓を締め切らないか、強制換気をしてください。

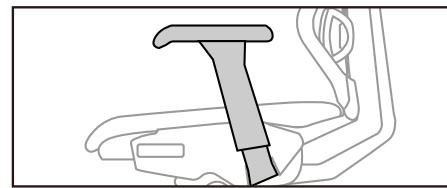
3 セクアチェアの機能・調節

各部の名称



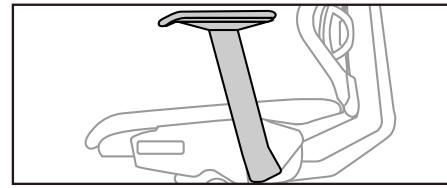
■肘かけ

肘かけの形は2種類あります。



アジャスタブル肘 : KG-357、KG-367

※アジャスタブル肘の操作方法についてはP5をご参照ください。



T型肘 : KG-355、KG-365

※T型肘は、肘当ての高さ調整、前後調整、左右調整、回転調整ができません。

⚠ ヘッドサポートについての注意事項

!
ヘッドサポートにもたれかかるなど、過大な力を掛けないでください。破損やけがの原因になります。

⚠ ハンガーについての注意事項

!
2kg以上のものは掛けないでください。破損の原因になります。

!
ハンガーにもたれかかったり、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

!
コートのような背丈の長い服は掛けないでください。床への接触やキャスターへの巻き込みで汚れや破れの原因になります。

⚠ イスの移動についての注意事項

!
移動の際は、背フレームを持つようにしてください。

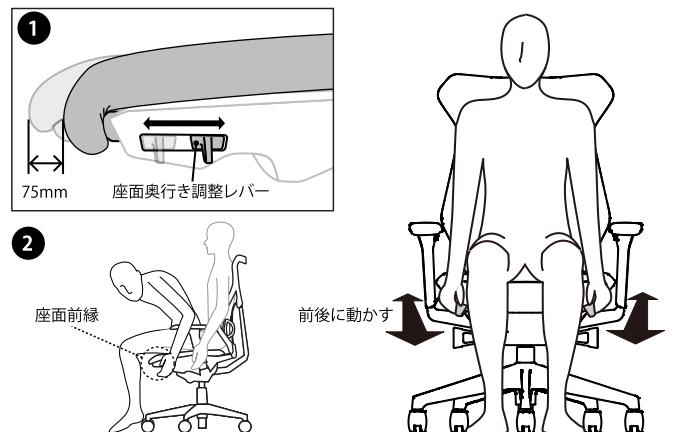
!
移動の際は、過大な力を加えないでください。部品が破損する原因になります。

!
ランバーサポートを持ってイスの移動をしないでください。ヘッドサポート、ハンガー装着時はヘッドサポート、ハンガーを持ってイスの移動をしないでください。破損の原因になります。

!
座面や肘かけをつかんでイスを持ち上げないでください。座面や肘かけが外れる原因になります。

座面奥行きの調節

- 1 座面の奥行きは前後約75mmの範囲で調整できます。座面下のレバー操作により、体格に合わせたポジショニング設定が座った状態で可能です。
- 2 座面前縁の両端にあるレバーを前後させることで、座面の前縁部が折れ曲がり、奥行きを調整することができます。
(レバーを前側に押すと奥行きが長くなります。また、手前に引くことで奥行きが短くなります)
- ! 奥行き調整時に座面の張地の巻き込みによるシワ等が発生しますが、機能上は問題なくご使用できます。
- ! 座面奥行きを調節するときは、座面前縁に体重が掛からないうにしてください。奥行き調節が重くなります。
- ! 座面奥行きの調節をするときは必ず、両端のレバーを持って調節してください。片側のレバーだけでの調節は破損、操作不良の原因となります。



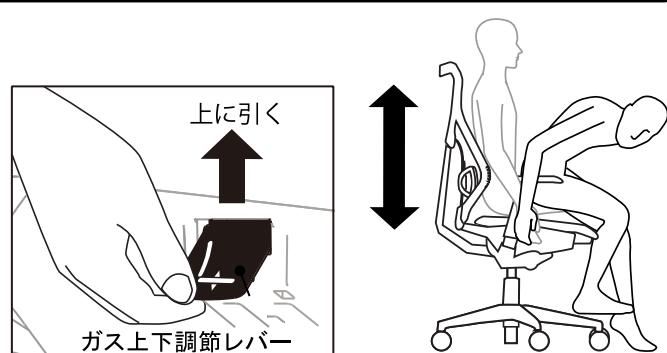
座面の高さ調節

座面を高くするとき

必ず座面に腰掛け、座面右側下のガス上下調節レバーを上に引きます。座つたまま少しずつ腰を浮かすと座面が上がりります。希望の高さになったらレバーをはなします。

座面を低くするとき

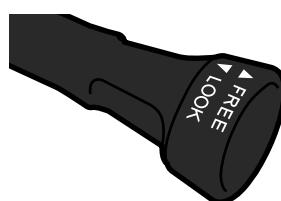
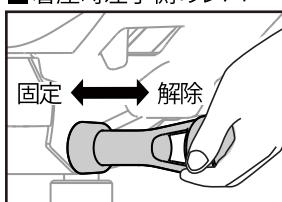
必ず座面中央部に腰掛け、座面右側下のガス上下調節レバーを上に引くと座面が下がります。希望の高さになったらレバーをはなします。



ロッキング角度の固定

座面左側下にあるロッキングストップバーでロッキング角度を初期状態から最後傾まで5段階で固定できます。

■着座時左手側のレバー



ロッキング角度の固定

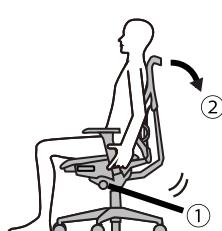
固定したい角度まで背もたれを傾け座面左側下のロッキングストップバーを内側方向に押して手をはなしてください。背もたれが固定されます。



ロッキング角度の固定の解除

①座面左側下のロッキングストップバーを外側方向に引張り手をはなしてください。

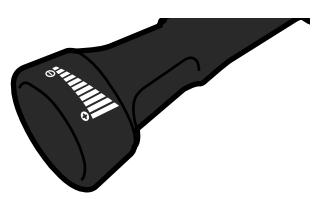
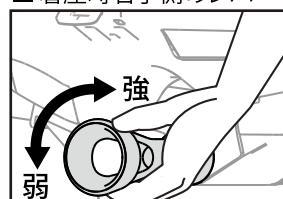
②背もたれに体重をかけロッキングさせるとロックが解除されます。



ロッキングの強弱調節

背もたれの後傾のロッキング強弱は座面右側下にあるロッキング強弱調節ノブで調整します。

■着座時右手側のレバー



強くする /



【右回り】
前方向に回す

弱くする /



【左回り】
後方向に回す

! 強さを調節するときは必ず、背が直立の状態で行ってください。(背にもたれないでください) 背にもたれた状態では、ロッキング強弱調節ノブの回転が重くなります。

! 強さを調節するときは、ロッキング強弱調節ノブの穴に指を入れないでください。けがをすることがあります。

ロッキングの強弱の目安

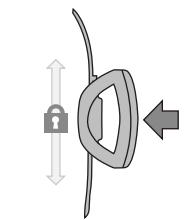
背もたれに軽くよりかかると、背中をささえながら傾き、戻るときには背もたれが自然についてくる程度が適度な固さの目安です。

! 最後傾で背もたれが自然についてこないときは、腰を浮かし、背もたれを直立に戻した状態でロッキング強弱を強くしてください。

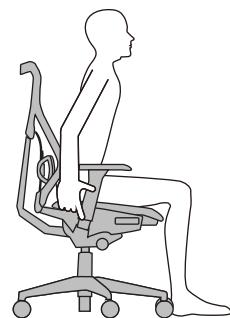
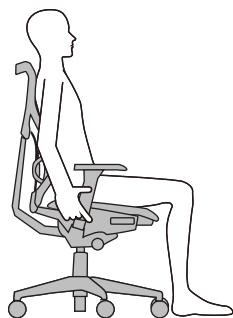
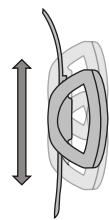
アジャスタブルランバーサポートのロック機構

ランバーサポートのロック機構は背にもたれると作動し、固定されます。背もたれから身体を離すとロックが解除され、上下位置調整が可能となります。

背もたれにもたれているとき



背もたれから身体を離しているとき

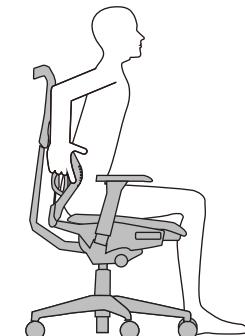
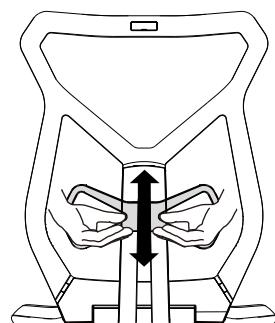


アジャスタブルランバーサポートの上下位置調整

ランバーサポートの位置は、ワーカーの身体に合わせて高さ60mm・7段階の調整ができます。背もたれより身体を離した状態で、ランバーサポートのフレームのサイドを両手で持ち、お好みの高さまで動かしてください。

!
無理な姿勢で操作を行うと、身体を痛める恐れがありますので、負担を感じる場合は離席して操作を行ってください。

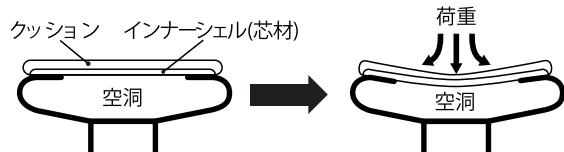
!
背にもたれた状態での操作や片手での操作は破損、操作不良の原因となります。



60mm
7段階調整

ベンディングシート

座面内部は空洞で、細かいスリットを入れたインナーシェル(芯材)を左右から吊った構造になっています。荷重に合わせて座面が自然にたわみ、体重を適度に分散して支えます。血行を妨げず、安定した座り心地です。また、スリットから体温を発散し、ムレを防ぎます。



座部の断面図

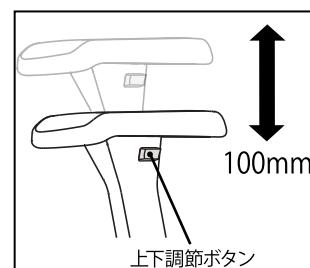
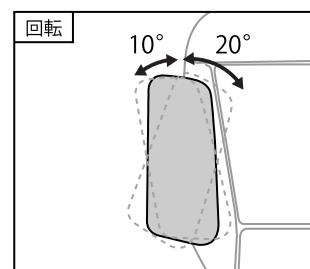
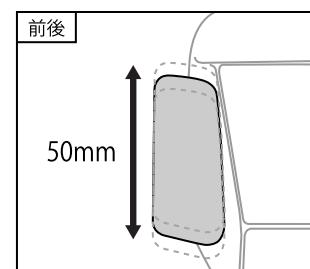
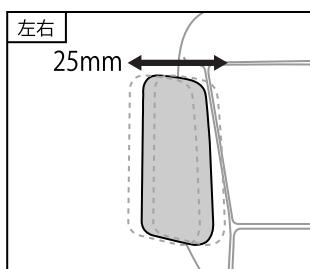
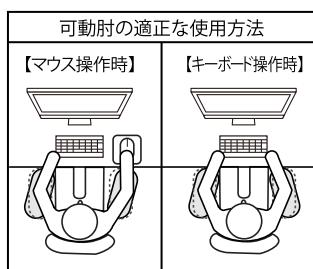
アジャスタブル肘の調節

適応機種: KG-357、KG-367

肘かけ部の回転、スライド

肘かけ部は、外側10°、内側20°、ずつ計30°の回転と50mmの前後スライド、25mmの左右スライドが可能です。長時間のキーボードやマウス操作は首や肩、腕に大きな負担をかけます。腕の位置やデスクの高さに合わせて、肘かけの位置を調節することで、腕にかかる負担が軽減できます。

△ 肘かけ部を持ってイスの持ち運びはしないでください。破損の原因となります。



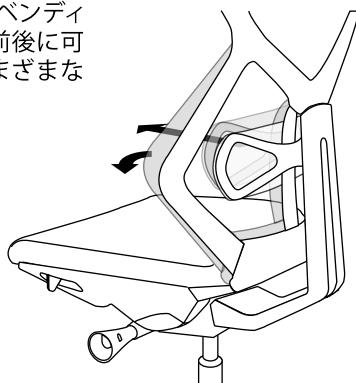
高さの調節

100mmの上下スライドが可能です。肘かけ側部の上下調節ボタンを押しながら、肘かけを希望の高さに合わせて手をはなします。

!
上下調節ボタンが戻ることを確認してください。

ペルヴィス & サイドサポート機構

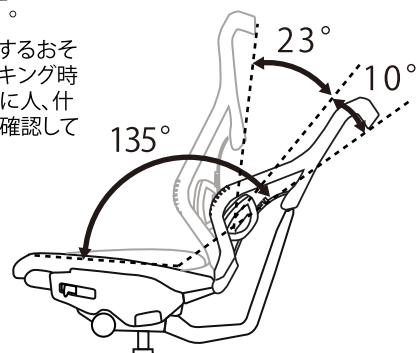
背の傾きに合わせて、無操作で腰フレームがしなり(アクティブベンディング)、ランバーサポートが前後に可動することで、着座者のさまざまな姿勢をサポートします。



大きな後傾角度

ロッキング角度23°とペルヴィス・サポート・システム10°により、体を大きく広げることができ、寝る姿勢に近くになりリフレッシュが可能です。

- 人、什器、壁などに接触するおそれがありますので、ロッキング時や回転時には必ず周囲に人、什器、壁などがないことを確認してください。



4 点検・お手入れ

快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。

点 検

ネジのゆるみ

使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。

- ホルトやネジがゆるんだままで使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。

異音の発生

ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お問い合わせ先の弊社担当者にご連絡ください。

お 手 入 れ

背もたれ・座面の裏部、脚部のお手入れ

きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどい時には、うすめた中性洗剤溶液でおふきください。

- シンナー、アルコール類の使用は避けてください。変色する場合があります。
- アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。



布地・クッション部のお手入れ

手ではなくか、電気掃除機ではこりを吸いとってください。クッション部の汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。

5 品質表示

記号の説明: ▲には次の記号が入ります。

5…T型肘 7…アジャスタブル肘

△には次の記号が入ります。

0…肘なし 5…T型肘 7…アジャスタブル肘

○○には次の記号が入ります。

張地…JB, JV

(H)はハンガー付き

機種		KG-35▲〇〇-ZW	KG-35▲〇〇-ZT	KG-35▲〇〇-WW	KG-35▲〇〇-TT	KG-36△〇〇-ZW	KG-36△〇〇-ZT	KG-36△〇〇-WW	KG-36△〇〇-TT
項目		KG-35▲〇〇(H)-ZW	KG-35▲〇〇(H)-ZT	KG-35▲〇〇(H)-WW	KG-35▲〇〇(H)-TT	KG-36△〇〇(H)-ZW	KG-36△〇〇(H)-ZT	KG-36△〇〇(H)-WW	KG-36△〇〇(H)-TT
寸法 (mm)		エクストラハイバック				ハイバック			
幅 ※脚部除く		アジャスタブル肘 650~700 / T型肘 660 / 肘なし 510							
奥行き※脚部除く		555~630 (H600~675)							
高さ		1190~1305				1030~1145 (H1075~1190)			
座面前縁の高さ		440~555							
重量 (kg)		肘無				19.3 (H19.5)			
T型肘		23.3 (H23.5)				22.9 (H23.1)			
アジャスタブル肘		22.9 (H23.1)				22.5 (H22.7)			
構造 部材	背アウターシェル	ポリアミド+ガラス							
	背プラケットフレーム	金属<アルミ>							
	背インナーシェル	ポリアミド+ガラス							
	座アウターシェル	ポリプロピレン+ガラス							
	座インナーシェル	ポリプロピレン							
	座受け部	金属<鋼>、金属<アルミ>、金属<亜鉛>							
	肘かけ部	肘付き ポリプロピレン、ポリアミド+ガラス、金属<アルミ>、PUR(表皮材) / 肘なし —							
	ランバーサポート部	ポリアミド+ガラス、熱可塑性ポリウレタンエラストマー							
	ヘッドサポート部	ポリアミド+ガラス、金属<鋼>				—			
	脚羽根部	金属<アルミ>							
表面加工		金属<鋼>							
張り材		JB, JV:再生ポリエステル27%+ポリエステル73%				GV:再生ポリエステル59%+ポリエステル41%			
クッション材		ウレタンフォーム							

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示